

都市再生整備計画(第5回変更)

ばんだいばししゅうへん
萬代橋周辺地区

にいがた 新潟県 にいがたし 新潟市

平成30年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	新潟市	地区名	萬代橋周辺地区	面積	152 ha
計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度				

目標

- 大目標：都心軸と自然軸が交差する「萬代橋」周辺ならではの魅力を活かした「まちなか空間」の創出
- 目標1: まちなかと信濃川、みななどを結びつけ、回遊性の高い歩行者空間を創る
- 目標2: 萬代橋周辺の公共空間を活用し、新たなにぎわい空間を創る
- 目標3: 信濃川が育む良好な景観と開放感のある水辺空間を創る

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

新潟市は、明治時代、信濃川によって隔てられていた新潟町と沼垂町が「初代萬代橋」で結ばれたことで発展し、新潟駅から萬代橋を経て榎谷小路に至る区間は、新潟市の商業業務の中心市街地として、また街に訪れる人々を迎える大通りとして重要な役割を担ってきました。そして、昭和4年に開通した「3代目萬代橋」は、まちなかを悠然と流れる信濃川の河川空間(やすらぎ堤)とともに広く市民に親しまれ、平成16年には優美な6連アーチに体现される橋梁美を兼ね備えた近代土木構造物として、国の重要文化財に指定されています。

新潟市の「新・新潟市総合計画」及び「新潟市都市計画基本方針(都市計画マスタープラン)」では、都市のコンパクト化を促進するため、本地区を含む古町・白山周辺地区から新潟駅周辺地区に及ぶ地区を、新潟市の商業業務・国際交流・文化・行政の中心となる「都心」として位置づけています。新潟市の都心、すなわち、「中心市街地」は都市の「顔」であり、地域の歴史や文化を継承しながら、新しい文化を生み出し、また内外からたくさんの人々が集い、交流する場として都市に活力をもたらす大切な地区です。しかしながら、対象地区を含んだ中心市街地では、車社会の進展や人口の空洞化、郊外大型店の進出などにより、現在大変厳しい状況におかれています。

そのため、新潟市では、新潟市の都心に位置付ける「古町・万代・新潟駅周辺地区」を対象に、「中心市街地活性化基本計画」(H20～24の5カ年)を策定し、基本方針のもと各種事業に取り組んできました。さらに、平成21年度からは「新潟市まちなか再生本部」を立ち上げ、喫緊の「まちなか再生」に向けた基本方針の策定と具体的な施策の検討を行い、平成24年3月には、都心軸のあるべき姿、取組み提案と行動提案が示され、平成29年3月に策定した「新潟市立地適正化計画」においては、古町地区と万代地区とつなぐ信濃川の水辺空間を交流軸と位置づけ、まちなか回帰・まちなか再生へ向けた確かな指針が提示されたところであります。

萬代橋周辺地区は、信濃川に架かる萬代橋・やすらぎ堤を中心に、上流は八千代橋、下流は柳都大橋や万代島のみなどエリアを含む信濃川両岸沿いに位置する市街地になります。萬代橋から上流にある信濃川沿いの堤防は、「やすらぎ堤」と呼ばれ、緑があふれ四季を通じて信濃川の自然を感じることができる貴重な水辺空間として市民の憩いの場となっており、萬代橋と一体となって、新潟を代表する景観を形成しています。

本地区の右岸側は、大規模な商業施設が集積し公共交通ターミナルの機能なども備えた万代地区やみななどを含んだエリアになっています。左岸側は、古くから周辺住民の台所となってきた本町市場があり、信濃川沿いにはホテルやマンションなどが多く立ち並んでいる地区になっています。近年、このエリアでは、その優れた都市環境から民間開発により数多くの高層マンションが建設されていますが、これらのマンション建設は定住人口の増加につながり、中心市街地の活性化やまちなか回帰に寄与する一方、萬代橋やすらぎ堤が織りなす自然や文化を感じる景観との調和が図られているのか問題となることがあります。中心市街地・都心軸の核となる萬代橋周辺では、更なる活性化・にぎわいの創出が喫緊の課題となっており、良好な空間を活用・保持する取組、都心部と萬代橋・やすらぎ堤やみななどにおける移動利便性・回遊性の向上、萬代橋周辺に訪れやすい環境の整備などが求められています。

課題

- 萬代橋周辺の回遊性・快適性の向上に向け、歩行者や自転車の利用促進や動線確保、ゆとりある歩行空間の創出が求められている。
- 歴史や文化、自然が融合した、新潟市を代表するブランドの構築と良好な景観と環境を守り育てる必要がある。
- まちなか再生に向け、都心軸に新たなにぎわいと活力を創り出し、交流人口の増加を図る必要がある。
- 都心軸の拠点性向上と市内各地区との連携を強めるため、都市交通の円滑化や交通結末機能の向上を進める必要がある。

将来ビジョン(中長期)

本地区における上位計画等の位置付けは以下の通り。

- ①新・新潟市総合計画(計画期間:平成19年4月～27年3月)・・・新潟駅周辺、万代、古町・白山地区を「都心」に位置付け。商業業務の集積や都心への居住の促進など、日本海交流拠点にふさわしい都心機能の充実・強化を図ります。
- ②新潟市都市計画基本方針(都市マスタープラン)(計画期間:平成20年～40年)・・・新潟駅周辺、万代、古町・白山地区を「都心」に位置付け。都心各地区が連携し、多様な魅力を提供し、移動の利便性を高め、様々な人が働きやすく、暮らしたくなるまちづくりを進めます。
- ③中央区 区ビジョンまちづくり計画(計画期間:平成20年4月～平成27年3月)・・・「都心が賑わい、人々が集い交流する水辺のまち」
- ④にいがた交通戦略プラン(計画期間:平成20年4月～平成30年3月)・・・万代地区の交通結節機能の強化と歩行者空間整備
・訪れる人たちがバスを利用する人にわかりやすい都心部の重要な交通結節点として、天候の影響を受けない選択性の高い歩行者空間ネットワークを強化し、新潟の情報と魅力を発信する快適な都市環境整備を進めます。
- ⑤まちなか再生本部報告書(平成24年3月策定、計画期間:中長期的な視点から概ね10年)・・・新潟のシンボル・賑わい空間
・新潟市の時間軸が蓄積した歴史・景観のシンボル。萬代橋からの眺望を活かし、多くの市民や来訪者が憩い・集う仕組みづくりと景観の保全を推進する。さらに古町・万代地区とやすらぎ堤を結ぶ歩行者動線を強化し、信濃川を中心とした都心軸の一体感を醸成する。
- ⑥トキメキ佐渡・にいがた観光圏整備計画(平成27年3月策定)・・・新潟市中心市街地滞在促進地区(新潟駅・万代周辺促進地区)
・滞在促進地区等における滞在・回遊促進事業として、みなとまち新潟の滞在コンテンツの開発や充実を図る。
- ⑦新潟市立地適正化計画(平成29年3月策定)・・・萬代橋周辺の水辺空間と若者らが集う商業による賑わいのまちづくり
・信濃川やすらぎ堤を活用した地区内外との回遊性を高め、まちなかに広がりある賑わいを創出する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
萬代橋の歩行者・自転車通行量	人・台/日	萬代橋を渡る歩行者や自転車の通行量	萬代橋を渡る歩行者、自転車利用者は減少傾向にあるが、やすらぎ堤・萬代橋とまちなかの結びつきを強化をすることで、利便性・回遊性が改善され、減少傾向を食い止める。	7,542 人・台/日	H22年度	7,542 人・台/日	H29年度
道路空間を活用した事業活動回数	回	萬代橋周辺の歩行者空間などを活用した、イベント、物販、広告事業などの事業活動実施数	既存の公共施設や空地を有効活用することで、地域の活性化・快適な空間の創出と適切な維持管理を行うことができる。	4 回	H23年度	10 回	H29年度
やすらぎ堤及び港湾緑地等の利用稼働率	%	やすらぎ堤(河川区域及び緑地)及び港湾緑地(港湾区域及び港湾緑地)における、賑わいづくりや地域行事などの利用による年間稼働率	河川や港などの水辺空間に市民や来街者を引き込み、萬代橋周辺のより良い景観と開放感ある空間の魅力を周知することで、地域資源の維持、向上につながる。	34%(125日/365日)	H23年度	50%(182日/365日)	H29年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・【まちなかと信濃川、みなとを結びつけ、回遊性の高い歩行者空間を創る】 萬代橋を軸に、新潟駅から古町地区につながる都心軸と信濃川やみなとの結びつきを強化し、回遊性が高く、歩行者や自転車利用者にとって便利で楽しめるまちを目指します。</p>	<p>■基幹事業 ・地域生活基盤施設：情報板 ・地域生活基盤施設：立体遊歩道、視点場</p>
<p>・【萬代橋周辺の公共空間を、新たににぎわい空間として活用する】 萬代橋ややすらぎ堤、港湾緑地、みなとなどの公共施設や空間をにぎわいステージとして活用し、市民や来街者が集まり、活気あふれるにぎわいのあるまちを目指します。</p>	<p>■基幹事業 ・公園：他門川公園 ・高質空間形成施設：緑化施設等、バリアフリー対応公衆トイレ等 ・高質空間形成施設：緑化施設等、光のネックレス事業 ・高質空間形成施設：緑化施設等、榎谷小路ゆうあい公園 ・高質空間形成施設：緑化施設等、万代島旧水揚場緑地 ・既存建造物活用事業：地域交流拠点 □提案事業 ・地域創造支援事業：公共空間利活用推進（インフラ整備）事業 ・地域創造支援事業：万代島旧水揚場跡地整備事業 ・まちづくり活動推進事業：公共空間を活用したエリアマネジメント支援事業</p>
<p>・【信濃川が育む良好な景観と開放感のある水辺空間を創る】 まちなかを流れる信濃川の貴重な景観と環境を活かし、開放感があり心地よい空間の創出を目指します。</p>	<p>■基幹事業 ・地域生活基盤施設：立体遊歩道、視点場 ・高質空間形成施設：バリアフリー対応公衆トイレ等 □提案事業 ・事業活用調査：萬代橋から見る景色・萬代橋が見える景色づくり事業</p>
<p>その他</p> <p>※当地区周辺におけるまちづくりに関する状況について</p> <p>【当地区における官民連携によるまちづくり活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●萬代橋誕生祭 <ul style="list-style-type: none"> ・国の重要文化財「萬代橋」の歴史的な価値や存在意義を楽しみながら再認識してもらおうと、市民が主体となった実行委員会が毎年8月（8月23日が誕生日）に開催するもの。 ●萬代橋周辺まちづくり協議会によるエリアマネジメントの推進（H24～） <ul style="list-style-type: none"> ・萬代橋周辺における公共空間の利活用、賑わいづくり、環境整備などを目的としたエリアマネジメントを推進する、官民が連携した組織によるもの。 ●ミズベリング信濃川やすらぎ堤 <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年2月25日付けで、民間事業者等による営業活動が可能となる「都市・地域再生等利用区域」の指定を、信濃川やすらぎ堤の萬代橋～八千代橋間において受けたことにより、河川空間における官民連携エリアマネジメントの展開を進める。 <p>【第14回2011まちの活性化・都市デザイン競技の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり月間実行委員会が主催する「まちの活性化・都市デザイン競技」を実施。 萬代橋周辺地区を対象地区として、「新潟の都心軸と信濃川の水辺空間が交差する”萬代橋”周辺の魅力を活かした都市デザインの創出」をテーマに、萬代橋や信濃川を活かした新たな魅力づくり、周辺と連携した賑わい・回遊空間の形成、良好な景観形成等のための様々なアイデアと都市デザインについて提案を募集した。今後、提案・アイデアの利活用を図る。 <p>【都心軸における主要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新潟駅周辺整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道を挟んだ南北市街地の一体的な整備を図り、日本海拠点都市にふさわしい都市機能の強化に向けて、鉄道在来線の高架化や幹線道路、駅前広場等の都市基盤整備をはじめ、駅周辺市街地の総合的な整備を図る。 ●新たな交通システムの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年2月に策定した新たな交通システム導入基本方針に基づき、平成27年9月に都心軸にBRT（次世代型バスシステム・在来バスを高度化した交通システム）が導入され、専用走行路の整備などを進め機能向上を図る。 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,402	交付限度額	560.8	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	1,402	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	560.8		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0		

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路	公園	他門川公園	新潟市	直	A=2,617㎡	平成27年度	平成29年度	平成27年度	平成29年度	48	48	48		48	
	古都及び緑地保全事業														
	河川														
	下水道														
	駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	広場	にぎわい広場	萬代橋橋詰	新潟市	直	A=100㎡	平成25年度	平成34年度	平成25年度	平成28年度	59	9	9	9	
	情報板	橋の案内板	萬代橋 他2橋	新潟市	直	6基	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	3	3	3	3	
	情報板	矢羽式案内板	—	新潟市	直	15基	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	3	3	3	3	
	人工地盤等	立体遊歩道	萬代橋橋詰	新潟市	直	L=35m,W=15m	平成26年度	平成34年度	平成26年度	平成29年度	475	100	100	100	
	人工地盤等	視点場	信濃川右岸	新潟市	直	L=110m,W=20m	平成27年度	平成31年度	平成27年度	平成28年度	59	19	19	19	
	人工地盤等	視点場	信濃川左岸	新潟市	直	L=220m,W=5m	平成27年度	平成29年度	平成27年度	平成29年度	60	60	60	60	
高質空間形成施設	緑化施設等	萬代島旧水揚場緑地	新潟市	直	A=3158㎡	平成28年度	平成30年度	平成28年度	平成29年度	107	99	99		99	
	緑化施設等	光のネクレス	萬代橋及びその周辺	新潟市	直	—	平成27年度	平成34年度	平成27年度	平成29年度	648	98	98		98
	緑化施設等	—	硯谷小路ゆうあい公園	新潟市	直	A=200.8㎡	平成27年度	平成29年度	平成27年度	平成29年度	23	23	23	23	
	歩行支援施設、障害者誘導施設 公衆用トイレ	萬代島右岸緑地	新潟市	直	1基	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	52	52	52		52	
高次都市施設	地方都市リノベーション推進施設														
生活拠点施設	既存建造物活用事業	萬代島地区	新潟市	直	—	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	694	694	694		694	
	土地区画整理事業														
	市街地再開発事業														
	住宅街区整備事業														
	地区再開発事業														
	バリアフリー環境整備促進事業														
	優良建築物等整備事業														
	住宅市街地	拠点開発型													
	総合整備	沿道等整備型													
	事業	密集住宅市街地整備型													
		耐震改修促進型													
	街なみ環境整備事業														
	住宅地区改良事業等														
	都心共同住宅供給事業														
	公営住宅等整備														
	都市再生住宅等整備														
	防災街区整備事業														
	合計									2,231	1,208	1,208	0	1,208	

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
公園														
河川														
下水道														
合計										0	0	0	0	0

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降分を記載

基幹事業 総計(①+②)											1,208	1,208	0	1,208
総計											1,208	1,208	0	1,208

…A=A'+A''

萬代橋周辺地区(新潟県新潟市) 整備方針概要図

目標	都心軸と自然軸が交差する萬代橋周辺ならではの魅力を活かしたまちなか空間の創出 目標1: まちなかと信濃川、みなとを結びつけ、回遊性の高い歩行者空間を創る 目標2: 萬代橋周辺の公共空間を、新たににぎわい空間として活用する 目標3: 信濃川が育む良好な景観と開放感のある水辺空間を創る	代表的な指標	萬代橋の歩行者・自転車通行量 (人・台/日)	7,542	(H22年度)	→	7,542	(H29年度)
			道路空間を活用した事業活動 (回/年)	4	(H23年度)	→	10	(H29年度)
			やすらぎ堤及び港湾緑地等の利用率 (%/年)	34%	(H23年度)	→	50%	(H29年度)

